

俳句

小松文芸賞

丹頂

川崎市 坂本 巴

相對の調和説く僧梅香る

春の夜や独学で吹くハーモニカ

母の倍生きて何せし時鳥

通草<sup>あけび</sup>食べ仙人気分種を吹く

丹頂の千羽千体なる孤独